

2016年7月23-24日 県連スキルアップ技術講習会 大町市運動公園人工岩・仏崎岩
参加メンバー：W

県連教育部 佐久山の会の F さんを講師とし、第二回スキルアップ技術講習会(岩稜・登攀編)が1泊2日で行われました。参加者は、7会から計15名でした。リーダー(経験者)を1名含める4名1組のグループに分かれ、全体講習→グループ実習というスタイルで講習会が行われました。

1日目：

午前は、人口岩にて以下を行いました。

- ・支点の構築、確保方法
- ・フィックスロープを使ったクライミング→トラバース→クライムダウン
- ・マルチピッチでの登攀→懸垂

登山靴を履いた状態での演習であったため足の引っ掛かりが悪く、寝ている斜面にも関わらず、最初は怖かったです。

午後は、仏崎岩に移動し、以下を行いました。

- ・ハンマー、ハーケンの使い方
- ・4人1組でのマルチピッチでの登攀→懸垂

仏崎岩は縦50m横10mほどのスラブのゲレンデとなっており、崩壊が強かったです。一見登りやすそうな岩場に見えたのですが、足がかりが少なく、皆さん苦勞して登られていました。先行者の動きを見ながら、私も挑戦。とても苦戦しました。狭いゲレンデでしたので、全員が登ることは出来ませんでした。アツという間に時間が過ぎました。基本的には、今年の春に当会で行った岩トレの内容と似通っており、私の中では復習といったイメージでした。17時頃に初日終了し下山し、山岳総合センターにて懇親会が行われました。なかなか他の会の方々とお話する機会が無いため、とても貴重な時間でした。

2日目：

午前は、人口岩で以下を行いました。

- ・リードビレイからのビレイヤーの自己脱出
- ・懸垂と懸垂途中の登り返し
- ・吊り上げ1/3システム

実際に自分でやってみて、やり方は覚える事は出来ましたが…実際、必要となった場面(そんな場面に出くわしたく無いですが)で出来るかどうか非常に難しい技術でした。

午後は、仏崎岩に移動し、以下を行いました。

- ・2人1組でのマルチピッチでの登攀→懸垂

これまでの自分の山行を思い返しても、技術を学習した(見た)事はあるが自分が実際にやる

機会はなく、支点構築にしてもビレイにしても”見ているだけ”が多く、今回実際にやってみてとても必死でした。自分も主体となって、そういった場所に行きたいと意欲が湧いた2日間でした。

フィックスでの通過



全体講習



ビレイヤーの自己脱出



仏崎岩にて

